BUFFALO

プリントサーバ

LPV2-TX1/T1

ユーザーズマニュアル

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [　　] で囲んだ名称は、 操作の際に選択するメニュー、 ボタン、 テキストボックス、 チェックボックスなどの名称を表わしています。

・本書では、 原則として本製品を設定するパソコンを 《設定用パソコン》 と表記しています。

目　次

MEMO

■この章でおこなうこと

Windows 2000/Me/98/95/NT4.0 環境で印刷する方法を説明します。 本章では 「簡単設定ガイド」 とは別の方法を説明します。

第1章

Windows で印刷する

1.1 NetBEUI プロトコルで印刷する

1.1 NetBEUI プロトコルで印刷する

ここでは、 NetBEUI プロトコルを使って印刷する方法を説明します。

メモ　Windows Vista/XP では、 NetBEUI プロトコルはサポートされていません。

■プリントサーバの設定を確認する

付属ソフト 「LPV2 マネージャ」 を使って、 プリントサーバの （ネットワーク） パスを確認します。

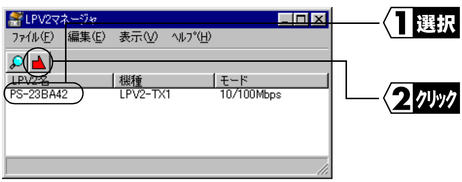
メモ　LPV2 マネージャを使用するには、 TCP/IP がインストールされたパソコンが必要です。
TCP/IP がインストールされたパソコンがない場合は、 本製品の 「パス」 設定を工場出荷時設定のままで使用してください。
本製品の工場出荷時設定については、 本書 「プリントサーバの設定項目と出荷時設定」 （P48） を参照してください。

1　「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 2 本製品を接続しよう」 を参照して、 プリントサーバを接続します。

2　「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 3 LPV2 マネージャをインストールしよう」 を参照して、 LPV2 マネージャをインストールします。

3　［スタート］ － ［（すべての） プログラム］ － ［BUFFALO］ － ［LPV2 マネージャ］ － ［LPV2 マネージャ］ を選択します。 LPV2 マネージャが起動し、 自動的にプリントサーバの検索が始まります。

4



検索されたプリントサーバを選択します。

ログインボタン （ ） をクリックします。

5　［パス］ 欄に表示されているパス （例 ： \\PS-23BA42\PS-23BA42-P1） をメモします。

《パス》

メモ　サーバ名やポート名は変更することもできます。 サーバ名やポート名を変更するとパスも変わるため、 必ず変更後のパスをメモしてください。

6　［OK］ をクリックします。

7 ［OK］ をクリックします。

8 ［OK］ をクリックします。 LPV2 マネージャが自動的に終了します。

続いて 「■ NetBEUI プロトコルの設定をする」 （P6） に進みます。

■ NetBEUI プロトコルの設定をする

印刷をするパソコンすべてに、NetBEUIがインストールされていることを確認します。
お使いの Windows によって手順は異なります。 該当する項目を参照してください。

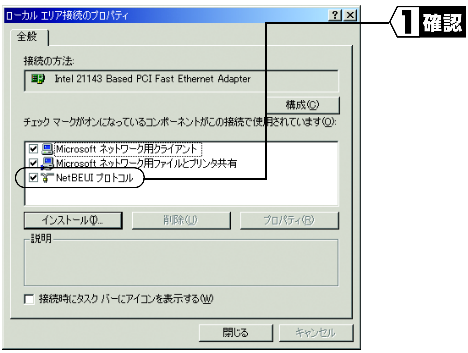
Windows 2000 . . . . P6
Windows Me/98/95. . . . . P6
Windows NT4.0 . . . . P7

《Windows 2000 の場合》

1 ［スタート］ － ［設定］ － ［ネットワークとダイヤルアップ接続］ を選択します。

2 ［ローカルエリア接続］ アイコンを右クリックし、 ［プロパティ］ を選択します。

3



「NetBEUI プロトコル」 が表示されていることを確認します。

「NetBEUI プロトコル」 が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」 （P27） を参照して、 NetBEUI をインストールします。

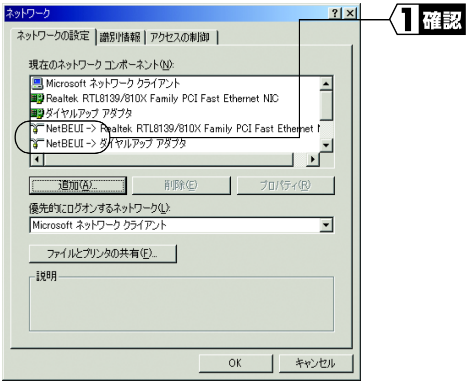
続いて 「■プリンタの設定をする」 （P8） へ進みます。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 ［スタート］ － ［設定］ － ［コントロールパネル］ を選択します。

2 ［ネットワーク］ アイコンをダブルクリックします。

3



［NetBEUI］が表示されていることを確認します。

「NetBEUI」が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P27）を参照して、NetBEUI をインストールします。

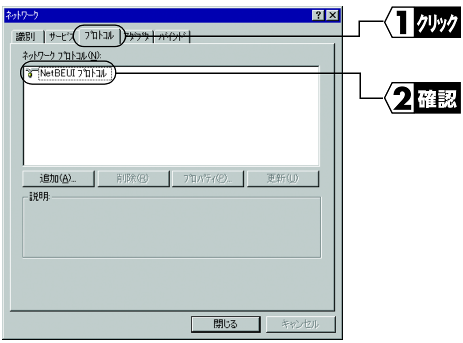
続いて「■プリンタの設定をする」（P8）へ進みます。

《Windows NT4.0 の場合》

1　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3



［プロトコル］をクリックします。

［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。

「NetBEUI プロトコル」が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P27）を参照して、NetBEUI をインストールします。

続いて「■プリンタの設定をする」（P8）に進みます。

■プリンタの設定をする

パソコンにプリンタの設定をします。 プリンタの設定だけは、 印刷をするパソコンすべてに必要です。

また、 Windows のバージョンによって手順が異なります。 該当する項目を参照し、設定してください。

Windows 2000/NT4.0 . . . . P8

Windows Me/98/95 . . . . P9

《Windows 2000/NT4.0 の場合》

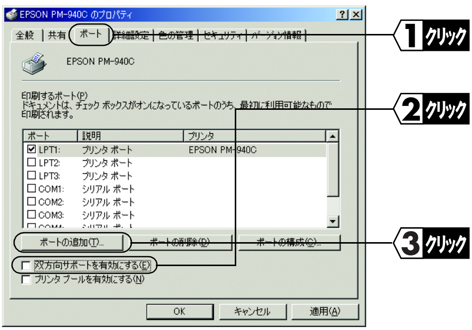
1 プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2 ［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックし、 ［プロパティ］ を選択します。

4



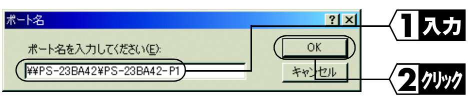
［ポート］ をクリックします。

［双方向サポートを有効にする］のチェックが付いている場合は、チェックを外します。

［ポートの追加］ をクリックします。

5 ［Local Port］ を選択し、 ［新しいポート］ をクリックします。

6



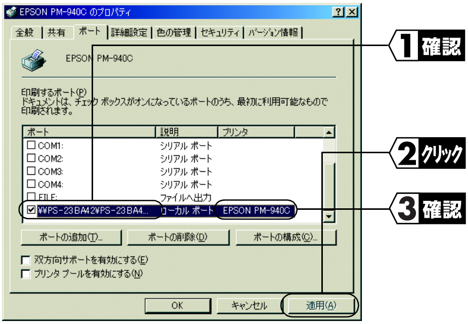
パスを入力します。

［OK］ をクリックします。

メモ パスは、P4 でメモした文字列を入力します（入力例：\\PS-23BA42\PS-23BA42-P1）。

7　［閉じる］ をクリックします。

8



手順 6 で入力したポート名が登録され、チェックが付いていることを確認します。

［適用］ をクリックします。

［プリンタ］欄にプリンタ名が表示されることを確認します。

9　［全般］ をクリックして、 ［テストページの印刷］ をクリックします。
テストページが印刷されたら、 印刷に必要な設定はすべて完了です。

《Windows Me/98/95 の場合》

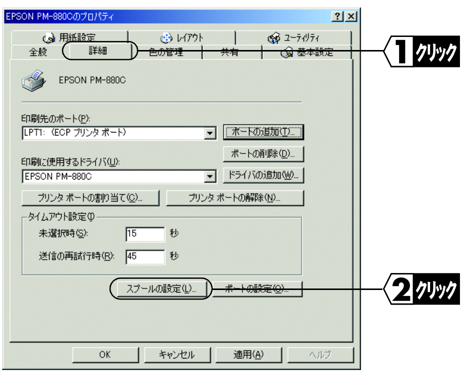
1　プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2　［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ を選択します。

3　インストールしたプリンタを右クリックして、 ［プロパティ］ を選択します。

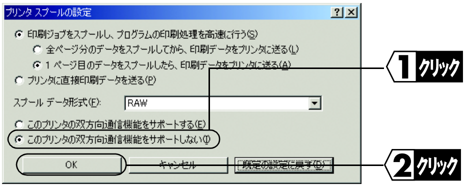
4



［詳細］ をクリックします。

［スプールの設定］ をクリックします。

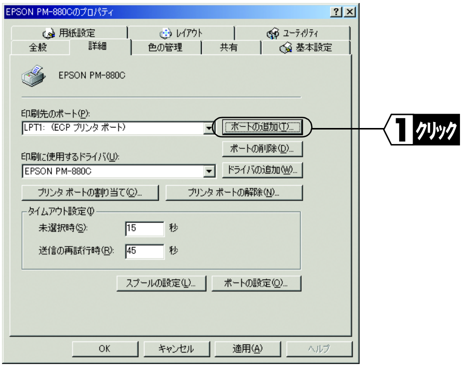
5



［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］ をクリックします。

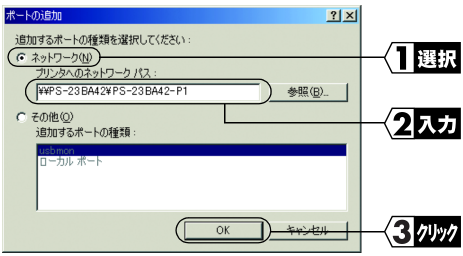
［OK］ をクリックします。

6



［ポートの追加］ をクリックします。

7



［ネットワーク］ を選択します。

パスを入力します。

［OK］ をクリックします。

メモ　パスは、 P4でメモした文字列を入力します（入力例：\\PS-23BA42\PS-23BA42-P1）。

8　［印刷先のポート］ に手順 7 で入力した文字列が表示されていることを確認し、［適用］ をクリックします。

9　［全般］ タブをクリックし、 ［印字テスト］ をクリックします。

テストページが印刷されたら、 印刷に必要な設定はすべて完了です。

第2章 Macintosh で印刷する

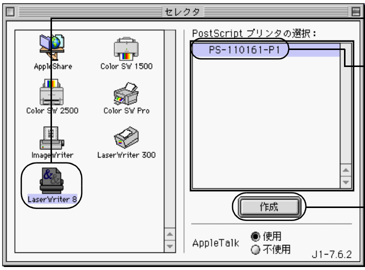
■この章でおこなうこと

Mac OS を搭載したパソコンを使って、 印刷するための設定を説明します。

2.1 Mac OS 9.x 以前での印刷手順

ここでは、 Mac OS 9.1 での手順を説明します。

1 ［アップルメニュー］ → ［セレクタ］ を選択します。



1 選択　「LaserWriter8」 を選択します。

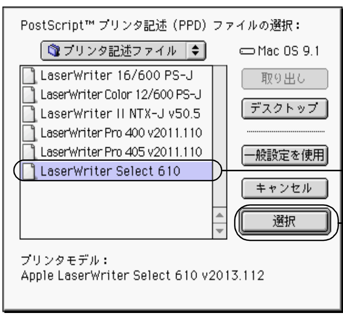
2 選択　プリンタを接続したポート名を選択します。

3 クリック　［作成］ をクリックします。

メモ
- 本製品を使って印刷するときは、 プリンタドライバに 「LaserWriter8」 を選択してください。 他のドライバを使用すると正常に動作しません。
- ポート名を変更したときは、 変更したポート名を 「PostScript プリンタの選択」 リストから選択します。

2 ［PPD 選択］ をクリックします （自動的に手順 3 に進むこともあります）。

3



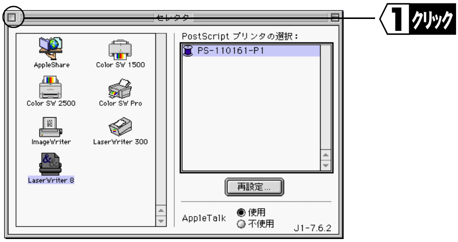
1 選択　「プリンタ記述ファイル」を選択します。

2 クリック　［選択］ をクリックします。

ご使用のプリンタにあったプリンタ記述ファイルを選んでください。
ここでは、 「LaserWriter Select 610」 を選択しています。

メモ　使用しているプリンタが表示されていないときは、 次の操作をしてください。
1. プリンタに付属のプリンタ記述ファイルをデスクトップにコピーします。
2. 手順 3 の画面で ［デスクトップ］ をクリックし、 プリンタ記述ファイルを選択してください。

4



セレクタを閉じます。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ

- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- プリントサーバの設定を確認・変更するときは、Windows パソコンから LPV2 マネージャ使用してください。

2.2 Mac OS X での印刷手順

Mac OS X での印刷方法は、AppleTalk プロトコルを使う方法と TCP/IP プロトコルを使う方法の 2 種類があります。

■ AppleTalk プロトコルを使って印刷する

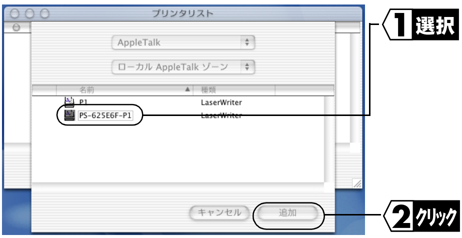
1 「Applications」 ー 「Utilities」 ー 「Print Center」 フォルダを選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません。」 と表示されるので ［追加］ をクリックします。

プリンタを登録するのが 2 回目以降の場合は、 「プリンタリスト」 画面が表示されるので ［プリンタを追加］ （または 「追加」） をクリックします。

3 リストボックスから 「AppleTalk」 を選択します。

4



プリンタを接続したポート名を選択します。

［追加］ をクリックします。

メモ
- ポート名を変更したときは、 変更したポート名を選択します。
- 上の画面は Mac OS 10.1 の画面です。

5 プリンタリストに手順 4 で選択した名前が追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- プリントサーバの設定を確認・変更するときは、Windows パソコンから LPV2 マネージャ使用してください。

■ TCP/IP プロトコルを使って印刷する

メモ　TCP/IP を使って印刷するには、 Windows パソコンで、 プリントサーバの IP アドレスとキュー名 （ポート名） を確認する必要があります。 確認方法は、 別紙 「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 4　本製品を設定しよう」 を参照してください。

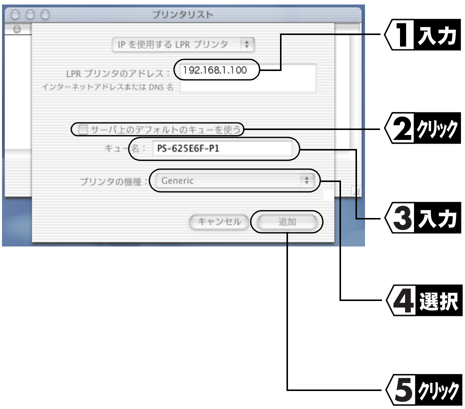
1　「Applications」－「Utilities」－「Print Center」フォルダを選択します。

2　「使用可能なプリンタがありません。」 と表示されるので ［追加］ をクリックします。

プリンタを登録するのが 2 回目以降の場合は、 「プリンタリスト」 画面が表示されるので 「プリンタを追加」 （または 「追加」） をクリックする。

3　Mac OS 10.1.5 以前の場合は、 リストボックスから 「IP を使用する LPR プリンタ」 を選択します。
Mac OS 10.2 以降の場合は、 リストボックスから 「IP プリント」 を選択します。

4　以下の項目を入力し、 ［追加］ をクリックします。



1 入力　プリントサーバのIPアドレスを入力します。

2 クリック　「サーバのデフォルトキューを使う」 のチェックを外します。

3 入力　プリンタを接続したポート名を入力します。

4 選択　使用する環境にあったプリンタの機種を選択します。

5 クリック　［追加］ をクリックします。

メモ
- 「IP アドレス」と「キュー名」（ポート名）は、Windows パソコンを使って、別紙「簡単設定ガイド」の「ステップ４　本製品を設定しよう」の手順で確認できるポート名と IP アドレスを入力します。
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択します。
- 上の画面は Mac OS 10.1 の画面です。

5 「プリンタリスト」 にプリントサーバの IP アドレスが追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- プリントサーバの設定を確認・変更するときは、Windows パソコンから LPV2 マネージャ使用してください。

第3章

UNIXで印刷する

■この章でおこなうこと

UNIX を使って印刷するための設定を説明します。

3.1 UNIXで印刷する

3.1 UNIX で印刷する

UNIX から印刷するには、 以下の手順で設定します。

■印刷する前に

メモ　UNIX を使って印刷するには、 Windows パソコンで、 プリントサーバの IP アドレスとポート名を確認する必要があります。 確認方法は、 別紙 「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 4　本製品を設定しよう」 を参照してください。

プリントサーバの工場出荷時設定は、 次のとおりです。

- ポート名　PS-xxxxxx-P1 （xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）
- IP アドレス　DHCP/BOOTP/RARP サーバから自動取得

UNIX から本製品を使用して印刷するときの流れは、 次のとおりです。

1 プリントサーバの IP アドレスの変更 （固定 IP アドレスを設定する場合）
2 「/etc/hosts」 ファイルの変更
3 「/etc/printcap」 ファイルの変更
4 lpr コマンドで印刷

■印刷する

1 プリントサーバの IP アドレスを定義します。

例 ： 以下のコマンドを実行します。

（プリントサーバの IP アドレスを 192.168.100.123 にする場合）

```
arp -s 192.168.100.123 00:60:1D:23:BA:42
```

メモ　プリントサーバの IP アドレスが 「1.1.1.1」 の場合は、 印刷することができません。 必ず IP アドレスを 「1.1.1.1」 以外に変更してください。

2 プリントサーバと通信できるかどうか確認します。

例 ： 以下のコマンドを実行します。

```
ping 192.168.100.123
```

3 **「/etc/hosts」ファイルに、プリントサーバの IP アドレス、ドメイン名およびサーバ名を記述します。**

例：次の 1 行を追加します。

192.168.100.123 LPV.buffaloinc.co.jp LPV

4 **「/etc/printcap」ファイルの設定をします。**

例：以下の行を追加します。

LPV | LPV Line printer\:lp=:rm=LPV:sd=/usr/spool/LPV:rp=PS-xxxxxx-P1:

記述例の説明

lp（ローカルプリンタ）：	ローカルプリンタ時のデバイス名を指定します。ネットワークプリンタの場合は、何も指定しません。
rm（リモートマシン）：	hosts ファイルに記述した LPV のホスト名を指定します。hosts ファイルにホスト名の設定がされていない場合は、プリントサーバの IP アドレスを指定します。
sd（スプールディレクトリ）：	プリントデータをスプールするディレクトリ名を指定します。ここで指定したスプールディレクトリは、印刷をする前に用意しておく必要があります。
rp（リモートプリンタ）：	印刷をするプリンタが接続されているポート名を指定します。

5 **次のコマンドで印刷します。**

lpr -PLPV < ファイル名 >

メモ
- 設定完了後、再起動せずに印刷をおこなう場合は、「lpc restart LPV」とコマンド入力してください。
- プリントサーバの設定を変更するには、付属ソフト「LPV2 マネージャ」をインストールした Windows パソコンが必要です。LPV2 マネージャを起動し、プリントサーバにログインして、TCP/IP プロトコルに関する設定を変更します。

MEMO

第4章 困ったときは

■この章でおこなうこと

本製品を使用して発生する現象とその原因、 対策方法について説明します。

4.1 本製品 / パソコンの設定ができない

LPV2 マネージャで検索しても、 本製品が検出されない（TCP/IP プロトコルはインストール済み）

原因①： TCP/IP プロトコルの設定が正常に機能していません。

対策①： TCP/IP が複数のアダプタにバインドされている（関連付けられている）場合、TCP/IP の設定が正常に機能しないことがあります。現在使用している LAN アダプタだけに TCP/IP をバインドした状態で、本製品を再検索してください。

■例：Windows Me/98/95 でバインド（関連付け）を解除する

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
2. 「ネットワーク」 アイコンをダブルクリックします。
3. 「ネットワークの設定」画面で、使用していない LAN アダプタやダイヤルアップアダプタを選択し、［プロパティ］をクリックします。
4. ［バインド］タブを選択して［TCP/IP プロトコル］のチェックを外し、［OK］ボタンをクリックします。
5. 使用していない LAN アダプタやダイヤルアップアダプタの［TCP/IP プロトコル］のチェックをすべて外すまで、手順 3 ～ 4 を繰り返します。
6. ［OK］ボタンをクリックして、「ネットワークの設定」画面を閉じた後、Windows を再起動します。

原因②： ファイアウォール機能をもつソフトがインストールされている。

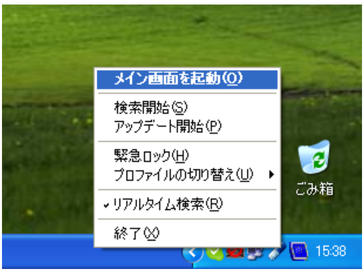
対策②： ファイアウォールの機能をもつ常駐ソフトを使用している場合、 本製品が検出されないことがあります。 この場合は、 ファイアウォール機能を無効に設定するか、 ソフトをアンインストールしてください。 設定方法については、 ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

■例 1:トレンドマイクロ社のウイルスバスター2007 の場合

「パーソナルファイアウォール機能」を無効に設定した状態でご利用ください。詳細は以下を参照してください。

⚠注意 「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 画面右下のタスクトレイ内に表示される[ウイルスバスター2007]アイコンを右クリックし、表示されるメニューから[メイン画面を起動]をクリックします。



メイン画面が表示されます。

2 メイン画面内の[不正侵入対策 / ネットワーク管理]をクリックします。



3 [パーソナルファイアウォール]を「有効」から「無効」に変更します。



4 画面右上の[×]をクリックし、メイン画面を終了します。

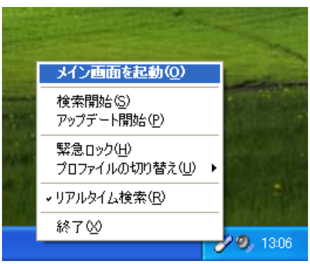


■例 2:トレンドマイクロ社のウイルスバスター2006 の場合

「パーソナルファイアウォール機能」を無効に設定した状態でご利用ください。詳細は以下を参照してください。

⚠注意 「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 画面右下のタスクトレイ内に表示される[ウイルスバスター2006]アイコンを右クリックし、表示されるメニューから[メイン画面を起動]をクリックします。



メイン画面が表示されます。

2　メイン画面内の[不正侵入対策 / ネットワーク管理]をクリックし、カテゴリ画面から[パーソナルファイアウォール]をクリックします。



3　[パーソナルファイアウォールを有効にする]のチェックを外します。



チェックボックスがチェックされているとき、パーソナルファイアウォールは有効です。

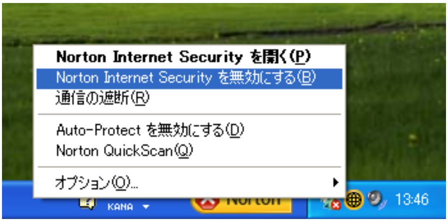
4　[適用]をクリックし、メイン画面を終了します。

■例 3：Norton Internet Security 2006 を一時的に終了する

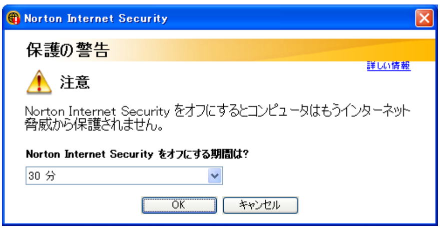
「Norton Internet Security」を無効に設定した状態でご利用ください。詳細は以下を参照してください。

⚠注意　Norton Internet Security を有効にすることで、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃やウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度 Norton Internet Security を有効にしてください。

1　画面右下のタスクトレイ内に表示される「Norton Internet Security 2006」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［Norton Internet Security を無効にする］をクリックします。



2　Norton Internet Security をオフにする期間を選択します。［OK］をクリックします。



以上で操作は完了です。

※元に戻すには上記手順 1 で、［Norton Internet Security を有効にする］を選択してください。

■例 4：ソースネクスト社製「ウイルスセキュリティ」を終了する

「ウイルスセキュリティ」を終了するときは、ソフトウェアをアンインストールしてください。

⚠注意　「ウイルスセキュリティ」をインストールすることで、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃やウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度「ウイルスセキュリティ」をインストールしてください。

LPV2 マネージャを起動すると 「TCP/IP が正しく動作していません」 と表示される （Windows Me/98/95/NT4.0）

原因： TCP/IP プロトコルがインストールされていません。

対策： 「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P27）を参照し、TCP/IP をインストールしてください。

TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい （Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）

対策： TCP/IP プロトコルや NetBEUI プロトコルをインストールする手順は、 次のとおりです。

■ Windows Me/98/95 の場合

1 **デスクトップ上の 「ネットワーク」 ※アイコンを右クリックし、 ［プロパティ］ をクリックします。**

※ Windows Me の場合は「マイ ネットワーク」を右クリックします。

2 **「ネットワーク」画面が表示されますので、［追加］をクリックします。**

3 **［プロトコル］を選択して、［追加］をクリックします。**

4 **［製造元］から Microsoft、［ネットワークプロトコル］から TCP/IP または NetBEUI を選択して、［OK］をクリックします。**

5 **［OK］ をクリックする。**

※ Windows Me の場合は、続いて手順 8 に進みます。

6 **Windows の CD-ROM を要求するメッセージが表示されます。**
Windows の CD-ROM パソコンにセットし、［OK］をクリックします。パソコンに Windows の CD-ROM が添付されていない場合は、そのまま［OK］をクリックします。

※ CD-ROM を要求するメッセージが表示されなかった場合は、そのまま手順 8 へ進みます。

7 Windows 98 の CD-ROM をセットした場合は、E:¥WIN98（CD-ROM ドライブが E ドライブの場合）と入力し、[OK]をクリックします。
Windows 95 の CD-ROM をセットした場合は、E:¥WIN95（CD-ROM ドライブが E ドライブの場合）と入力し、[OK]をクリックします。
Windows の CD-ROM をセットしなかった場合は、C¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS（Windows がインストールされているドライブが C ドライブの場合）と入力し、[OK]をクリックしてください。

8 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

■ Windows 2000 をお使いの場合

1 パソコンを起動します。
コンピュータの管理者権限があるユーザー名（Administrator 等）でログオンします。
※登録したユーザーは、制限ユーザーに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。

2 [スタート]－[設定]－[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。

3 [ローカルエリア接続]アイコンをダブルクリックします。

4 [プロパティ]をクリックします。

5 [インストール]をクリックします。

6 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されますので、「プロトコル」を選択して、[追加]をクリックします。

7 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」または「NetBEUI プロトコル」を選択して、[OK]をクリックします。

8 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」または「NetBEUI プロトコル」が追加されたことを確認して、[閉じる]をクリックします。

9 「ローカルエリア接続」画面の[閉じる]をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

■ **Windows NT4.0 の場合**

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を起動し、コントロールパネルから［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

2. ［プロトコル］タブをクリックして、［追加］をクリックします。

3. 「TCP/IP プロトコル」または「NetBEUI プロトコル」を選択して、［OK］をクリックします。

4. Windows NT4.0 の CD-ROM をパソコンにセットし、「E:¥I386」※（CD-ROMドライブがEドライブの場合）と入力し、［続行］をクリックします。
   ※ PC-9800 シリーズの場合は、「E:￥PC98」と入力します。

5. 「今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、［はい］をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

対策 ： 以下を参考にして、 IP アドレスを設定してください。

■ネットワーク上に DHCP サーバ※が存在する場合

IP アドレスの設定を、 以下のように設定します。

Windows Vista/XP/2000：「IP アドレスを自動的に取得する」

Windows Me/98/95：「IP アドレスを自動的に取得」

Windows NT4.0　：「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスを、 ネットワーク管理者に確認してください。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンの IP アドレスを、 以下のように設定します。

（設定例）

		IP アドレス	ネットマスク
パソコン A	：	192.168.11.1	（255.255.255.0）
パソコン B	：	192.168.11.2	（255.255.255.0）
パソコン C	：	192.168.11.3	（255.255.255.0）
パソコン D	：	192.168.11.4	（255.255.255.0）
・			
・			
・			
パソコン X	：	192.168.11.254	（255.255.255.0）

※ DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り振るサーバです。
Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの、DHCP サーバ機能を搭載した機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバが動作していることがあります。DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows 2000/NT またはブロードバンドルータのマニュアルを参照してください。
ネットワーク上に Windows Me/98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

パソコンの IP アドレスを確認したい

対策： パソコンの IP アドレスは、 以下の手順で確認できます。

■ **Windows Vista/XP/2000/NT4.0 の場合**

1 Windows Vista/XP/2000 の場合は、[スタート]－[（すべての）プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を選択します。
Windows NT4.0 の場合は、[スタート]－[プログラム]－[コマンドプロンプト]を選択します。

2 「ipconfig」と入力して、[OK]をクリックします。

3 「IP address」 欄に IP アドレスが表示されます。

メモ 「IP アドレス」 欄に次の数値が表示されているときは、 正しく IP アドレスが設定されていません。
- 「0.0.0.0」
- 「169.254.X.X」 （X は 0 ～ 255 までの数字）

■ Windows Me/98/95 の場合

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2 「名前」欄に「winipcfg」と入力して、［OK］をクリックします。

3 アダプタ名を、使用している LAN アダプタに変更します。
※「PPP Adapter.」は LAN アダプタではありません。

4 「IP アドレス」欄に IP アドレスが表示されます。

メモ 「IP アドレス」欄に次の数値が表示されているときは、正しく IP アドレスが設定されていません。
- 「0.0.0.0」
- 「169.254.X.X」 （X は 0 ～ 255 までの数字）

Windows パソコンでプリンタドライバのインストール時に本製品が見つからない （NetBEUI プロトコル使用）

対策： 「LPV2 シリーズユーティリティCD」内の「netbeui.txt」の手順でプリンタのドライバをインストールするときに、本製品が検出されない場合は、「NetBEUI プロトコルで印刷する」（P4）の手順で印刷に必要な設定をしてください。

ワークグループを変更したい （NetBEUI プロトコル使用）

対策 ： ワークグループは、 次の手順で変更できます。

■ Windows Me の場合

1 デスクトップの[マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。

2 ［識別情報］をクリックします。

3 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。

4 ［OK］をクリックします。

■ Windows 2000 の場合

1 デスクトップの［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

2 ［ネットワーク ID］をクリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。

4 ［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

■ Windows 98/95 の場合

1 デスクトップの［ネットワーク コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

2 ［識別情報］をクリックします。

3 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。

4 ［OK］をクリックします。

■ Windows NT4.0 の場合

1. デスクトップの［ネットワーク コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2. ［変更］をクリックします。
3. 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

4.2 印刷できない

TCP/IP（LPR）プロトコルで印刷できない

対策：　TCP/IP（LPR）プロトコルで印刷が正常にできないときは、以下の手順で設定を確認してください。
別に印刷可能な環境がある場合は、「■ TCP/IP 印刷チェックシート」（P38）を印刷し、必要な項目を記入しながら確認してください。印刷環境がない場合は【X へ記入】と説明している項目を、紙にメモしてください。

■ Windows Vista/XP/2000 の場合

① 「LPV2 マネージャ」 を起動して、 ポート名 /IP アドレスを確認します

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［LPV2　マネージャ］－［LPV2 マネージャ］を選択して、LPV2 マネージャを起動します。

1「プリントサーバ名」欄に表示されている本製品を選択して、ログインボタン（）をクリックします。
パスワード画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

2［ポート名］欄に表示されているポート名（例：PS-xxxxxx-P1）を【A へ記入】します。

3［プロトコル］タブをクリックします。

4［TCP/IP］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

5［IP アドレス］欄に表示されている IP アドレスを【B へ記入】します。

② 標準 TCP/IP ポートの確認をします

1［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3［ポート］タブをクリックし、［Standard TCP/IP Port］にチェックを付けます。

4［ポートの構成］をクリックします。

5［標準 TCP/IP ポートモニタの構成］画面のポート名を【D へ記入】、プリンタ名または IP アドレスを【C と E へ記入】、LPT 設定のキュー名を【D へ記入】します。

③ パソコンの IP アドレスを確認します

1［スタート］－［（すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2 ipconfig /all と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。確認したパソコンの IP アドレスを【G へ記入】します。

④ プリントサーバとの接続確認をおこなう （PING コマンドの実行）

記③の手順 2 に続いて、ping ＜ B の値＞と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。

「Reply from （以下略）」と表示されたときは、正常に接続されています。「TCP/IP 印刷チェックシート」の H 欄の OK に○を付けます。

「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示されたときは、接続されていません。ケーブルや AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（接続機器のランプなどを確認してください）。ケーブル類の接続に問題がない場合は、IP アドレスの設定を確認してください。

■ Windows Me/98/95 の場合

①「LPV2 マネージャ」を起動して、ポート名 /IP アドレスを確認します

［スタート］－［プログラム］－［BUFFALO］－［LPV2 マネージャ］－［LPV2 マネージャ］を選択して、LPV2 マネージャを起動します。

1「プリントサーバ名」欄に表示されている本製品を選択して、ログインボタン（）をクリックします。
パスワード画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

2［ポート名］欄に表示されているポート名（例：PS-xxxxxx-P1）を【A へ記入】します。

3［プロトコル］タブをクリックします。

4［TCP/IP］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

5［IP アドレス］欄に表示されている IP アドレスを【B へ記入】します。

②「TCP/IP ネットワーク印刷」のポートリストを確認します

1［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2［ネットワーク］をダブルクリックします。

3［TCP/IP ネットワーク印刷］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

4［TCP/IP　ネットワーク印刷のプロパティ］画面が表示されたら、以下のように［ポートリスト］が表示されていることを確認します。
ポートリスト：「¥¥IP アドレス ¥ ポート名」
↓ ↓
【C へ記入】【D へ記入】

③ プリンタドライバの設定を確認します

1［スタート］－［設定］－［プリンタ］を選択します。

2 プリントサーバに接続されているプリンタを選択して、［ファイル］－［プロパティ］を選択します。

3［詳細］タブを開き、以下のように［印刷先のポート］が表示されていることを確認します。
印刷先のポート：「\\IP アドレス \ ポート名」
↓ ↓
【E へ記入】【F へ記入】

4 ①～③の確認をして、記入した値が A=D=F、B=C=E であれば設定は正常です。

5 同じ IP アドレス、 数値が入っていない場合は、 上記②の確認手順で「ポートリスト」 に本製品に設定された IP アドレス、 ポート名を再度間違いのないように入力し直してください。 また、 IP アドレス、ポート名を再設定した後は、 プリンタドライバの印刷先ポートの設定も変更してください。

メモ 印刷先のポートの再設定方法

1 ［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ を選択します。

2 プリントサーバに接続されているプリンタを選択して、 ［ファイル］ － ［プロパティ］ を選択します。

3 ［詳細］ タブを開き、 ［ポートの追加］ をクリックします。

4 ［参照］ をクリックして、 ネットワーク全体からプリントサーバのポート名を選択します。

5 ［OK］ をクリックします。

④ パソコンの IP アドレスを確認します

「PING コマンドを実行したときに 「Request timed out」 や 「Destination host unreachable」 と表示される」 の対策② （P42） を参照して、 パソコンの IP アドレスを確認してください。

確認したパソコンの IP アドレスを 【G へ記入】 します。

⑤ プリントサーバとの接続確認をおこなう （PING コマンドの実行）

「ネットワークの接続を確認したい （PING コマンド）」 （P41） を参照して、 以下の接続確認を行ないます。

■パソコン－ プリントサーバ 間の接続確認

《実行方法》

PING　<B の値を入力 > <ENTER キー >

（例 ：　PING　192.168.11.5 <ENTER キー >）

実行して 「Reply from ～」 と表示されたときは、 正常に接続されています。「TCP/IP 印刷チェックシート」 の H 欄の 「OK」 に○をつけてください。「Request timed out」 や 「Destination host unreachable」 と表示された場合は、接続されていません。

※ PING コマンドを実行して正常に接続ができない場合には、IP アドレスの設定方法が間違っている可能性があります。「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P29）を参照して、確認してください。

■ TCP/IP 印刷チェックシート

下線部に 「TCP/IP （LPR） プロトコルで印刷できない」 （P34） の内容に沿って確認した値を、 直接記入してください。

A ： LPV2 マネージャの中の出力ポート
（例 ： PS-xxxxxx-P1） ――――► A ________

B ： LPV2 マネージャの中の IP アドレス
（例 ： 192.168.11.5） ――――► B ________

C ： ポートリストの IP アドレス
（例 ： 192.168.11.5） ――――► C ________

D ： ポートリストのポート名
（例 ： PS-xxxxxx-P1） ――――► D ________

E ・ F ：印刷先のポート
（例 ： \\192.168.11.5\PS-xxxxxx-P1）
↓ ↓
E F

____

G ： パソコンの IP アドレス
（例 ： 192.168.11.2） ――――► 1 台目 ________
2 台目 ________
3 台目 ________
4 台目 ________

H ： パソコンープリントサーバ間
（例 ：OK / NG） ――――► OK / NG

重要チェックポイント

① A=D=F、B=C=E になっていると正常です

② IP アドレスはお客様環境により異なりますが、この設定例では「192.168.11. ＊」の数値が同じ値に設定されていないと繋がりません（サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合）

＊の部分の数値は重複すると正常に動作しません。
（IP アドレスの詳しい設定内容は「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P29））

③ PING コマンドの実行結果が OK にならないと、印刷ができません。IP アドレスが正しく割り振られているか確認してください。

（「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P29）をご参照ください。）

プリントサーバ設定後、 プリンタドライバをインストールしたが、 正常に印刷できない

原因①： 本製品は双方向通信機能を使用した印刷方式には、 対応していません。

対策①： 使用しているプリンタの双方向通信機能を無効にしてください。

メモ　以下の操作をしても印刷できるようにならない場合は、他にプリンタ固有の双方向通信に関する設定がある可能性があります。そのときは、プリンタのマニュアルまたはプリンタメーカにて、双方向通信を無効にする方法を確認してください。

■例 ： プリンタの双方向通信機能解除

《Windows Vista/XP/2000/NT4.0 の場合》

1 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3 「ポート」タブをクリックして、［双方向サポートを有効にする］のチェックを外します。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 ［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］ を選択します。

3 「詳細」 タブをクリックして、［スプールの設定］ をクリックします。

4 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

原因②：プリンタの設定以外のことが原因で、正常に印刷できない場合があります。

対策②：次のことを確認してください。

- 大きなファイルのコピーが正常にできるか、またファイルの共有が正常にできるか確認してください。
- プリンタとパソコン（プリンタ本体が対応する OS が搭載されたもの）を直接 USB ケーブルで接続し、正常に印刷できるか確認してください。
- 最新のプリンタドライバを使用して印刷してください。
- 最新の LAN アダプタのドライバを使用して印刷してください。
- Windows パソコンの場合は、Microsoft のプリンタ共有機能を使用して印刷してください。

DOS アプリケーションから印刷できない

原因：本製品は、DOS アプリケーションからの印刷に対応していません（Windows の DOS プロンプトで動作する DOS アプリケーションからも印刷できません）。

プリントサーバをネットワークに 2 台以上取りつけたい

対策：1 台ずつネットワークに接続して、プリントサーバを設定してください。各プリントサーバに異なる IP アドレスを割り当てることに注意してください。

ネットワークにLPV2シリーズが2台以上あるとき、Windows 2000/NT の DHCP サーバを使って LPV2 シリーズの IP アドレスを自動取得すると、各 LPV2 シリーズに同じ IP アドレスが割り振られてしまう（TCP/IP 使用）

対策：以下の手順で、LPV2 シリーズの IP アドレスを設定してください。

1. LPV2 マネージャを起動し、TCP/IP のプロパティで IP アドレスの取得を手動設定にします。

2. LPV2 シリーズに割り当てる IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

3. DHCP サーバの設定で、LPV2 シリーズに割り当てた IP アドレスを他の機器に割り当てないように設定します（詳しくは、Windows 2000/NT サーバのマニュアルを参照してください）。

ネットワークの接続を確認したい （PING コマンド）

対策： PING コマンドを実行して、パソコンとプリントサーバが正しく通信できることを確認できます。
PING コマンドの使いかたは次のとおりです。

メモ PING コマンドを実行するには、 TCP/IP プロトコルをインストールしておく必要があります。

1 コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を開きます。

メモ
- Windows Vista/XP/2000 の場合は、[スタート]－[（すべての）プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を選択します。
- Windows Me/98/95 の場合は、[スタート]－[プログラム]－[MS-DOS プロンプト]を選択します。
- Windows NT4.0 の場合は、[スタート]－[プログラム]－[コマンドプロンプト]を選択します。

2 **「>」の後に続けて、次のように PING コマンドを入力し、Enter キーを押します。**

```
ping XXX.XXX.XXX.XXX
```

※ XXX.XXX.XXX.XXX はプリントサーバの IP アドレスです。
（例）プリントサーバの IP アドレスが 192.168.11.5 の場合

```
ping 192.168.11.5
```

3 **正しく通信できている場合は、 以下のように表示されます。**

```
Pinging 192.168.11.5 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=1ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=4ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=32
```

通信できていない場合は、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

PING コマンドを実行したときに 「Request timed out」 や 「Destination host unreachable」 と表示される

原因①： IP アドレスが正しく割り振られていません。

対策①： IP アドレスの設定を再確認してください。
「IP アドレスの割り振りかたがわからない」 （P29） を参照してください。
プリントサーバの IP アドレスを DHCP サーバから自動取得する場合は、 IP アドレスの取得に 1 分程度かかる場合があります。

原因②： パソコンの TCP/IP プロトコルの設定が正しくありません。 また、 TCP/IP プロトコルがインストールされていません。

対策②: 「パソコンの IP アドレスを確認したい」（P30）を参照して、IP アドレスが正常に設定されているか確認してください。
また、TCP/IP プロトコルがインストールされていないときは、「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P27）を参照して、インストールしてください。

パソコン起動後 1 回目の印刷実行時に、 ダイヤルアップ接続画面が表示されてしまう （Windows 98/95）

原因： Windows 98/95 の TCP/IP ネットワーク印刷とインターネットエクスプローラが同じ WinSock インターフェースを利用しているため発生します。

対策： 次の 3 つのうちいずれかの方法でご利用ください。

- ダイヤルアップ画面をキャンセルして使用します。
- NetBEUI プロトコルを使用して印刷します。
- インターネットエクスプローラの設定を変更します （ただし、 手動でダイヤルアップ接続する必要があります）。

《インターネットエクスプローラ Ver4.0 の場合》

［表示］ － ［オプション］ － ［接続］ の中で、 「LAN を使用してインターネット接続」 を選択します。

《インターネットエクスプローラ Ver3.0 の場合》

［表示］ － ［オプション］ － ［接続］ の中で、 「必要時にインターネットに接続する」 のチェックをはずします。

複数のパソコンから同時に印刷を始めたとき、後から印刷を始めたほうが印刷されない（NetBEUI 使用）

原因： Windows の仕様により、複数のパソコンからプリントサーバにデータを同時に送信した場合、プリンタが「オフライン」設定になることがあります。

対策： 以下の方法で「オンライン」に変更してください。

■ Windows Me/98/95/NT4.0 の場合

1 ［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。



2 プリンタのアイコンが、グレー表示になっています。
プリンタのアイコンを選択した後、［ファイル］メニューの「オフライン作業」をクリックします。

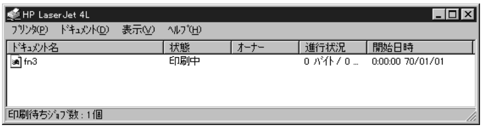


頻繁に「オフライン」になるときは、「簡単設定ガイド」および本書を参照して、TCP/IP プロトコルを使用して印刷をしてください。

印刷中に『プリンタのプロパティ』を表示すると、『プリンタのプロパティ』の印刷状況が正確に表示されない（NetBEUI 使用）

対策 ： NetBEUI を使用して印刷する場合、印刷状況が正確に表示されませんが、印刷上の問題はありません。
印刷状況を正確に表示するには、TCP/IP プロトコル （LPR） を使用して印刷ください。TCP/IP を使ったインストール方法は、「簡単設定ガイド」 で説明しています。

■ NetBEUI の場合



■ TCP/IP の場合



NetBEUI で印刷した場合、ドキュメント名は、「fnxxxx」（xxxx は印刷回数）が表示されます。

印刷回数は、0 ～ 9999 までカウントされます。

Windows NT4.0 Server / Workstation で Internet Explorer 4.0/4.01 から印刷できない（NetBEUI 使用）

対策： Internet Explorer が特殊なプロトコルを使用しているためです。
「簡単設定ガイド」を参照し、TCP/IP プロトコルで印刷してください。

4.3 Macintosh から印刷できない

プリントサーバが表示されない（AppleTalk 使用）

対策 ： プリントサーバが表示されない場合、 以下のことを確認してください。

- Macintosh 同士で、 ファイルの共有ができるか確認してください。
- ゾーン名の設定が同じであるか確認してください （工場出荷時設定 「*」の場合は問題ありません）。

印刷できない

対策① ： プリンタの種類がポストスクリプトプリンタであるか確認します。 Macintosh で本製品に接続したプリンタから印刷できるのは、 Post Script プリンタのみです。

対策② ： 最新のプリンタドライバをインストールして印刷します。

対策③ ： プリントサーバの通信モードと、Macintosh 上の Post Script の出力モードを同じにします （双方の設定をともに ASCII または Binary に設定します）。

MEMO

第5章 付　録

■この章でおこなうこと

プリントサーバの設定項目と工場出荷時設定、 LAN ポート仕様について説明します。

5.1　プリントサーバの設定項目と出荷時設定

5.2　モジュラコネクタ仕様 （MDI コネクタ） 仕様

5.3　パラレルポート仕様

5.1 プリントサーバの設定項目と出荷時設定

本製品には、 以下の設定項目があります。

項目名	説明	出荷時設定値
基本設定		
パス	プリントサーバのネットワークパスです。 サーバ名とポート名の設定により、「\\ サーバ名 \ ポート名」の形式で自動的に決定されます。	\\PS-xxxxxx\PS-xxxxxx-P1 ※
(プリント) サーバ名	プリントサーバの名称を設定します。	PS-xxxxxx ※
パスワード	プリントサーバの設定画面を開くときのパスワードを設定します	未設定
ポート名	ポート名を設定します。	PS-xxxxxx ※
プロトコル設定 (TCP/IP)		
IP アドレスの取得	プリントサーバの IP アドレス取得方法を設定します。	自動設定
IP アドレス	プリントサーバの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動で設定するときに入力します。	未設定
サブネットマスク		
ゲートウェイ		
プロトコル設定 (AppleTalk)		
AppleTalk Zone	AppleTalk のゾーン名を設定します。	*
プリンタオブジェクトタイプ	Macintosh でサポートするプリンタタイプを設定します。	LaserWriter
プロトコル設定 (NetBEUI)		
ワークグループ	ワークグループ名を設定します。	WORKGROUP
接続可能最大ステーション数	プリントサーバに接続可能な最大ステーション数を設定します。	32
接続可能最大セッション数	プリントサーバに接続可能な最大セッション数を設定します。	32
プロトコル設定 (SNMP)		
SysContact	プリントサーバの担当者名を設定します。	未設定
SysLocation	プリントサーバの設置場所を設定します。	未設定

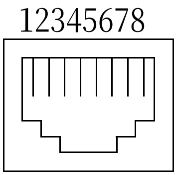
SNMP コミュニティ設定	SNMP のコミュニティ名を 3 つまで設定します。	public: Read/Write (No.1 のみ)

※ 「xxxxxx」 は、 本製品の MAC アドレスの下 6 桁です。 MAC アドレスは、 プリントサーバ本体に印刷されています。

5.2 モジュラコネクタ仕様（MDI コネクタ）仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

・ MDI 信号の割り当て



ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+	送信データ (+)
2	TD-	送信データ (-)
3	RD+	受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-	受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

5.3 パラレルポート仕様

アンフェノール 36 ピン　（セントロニクス準拠）

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	nStrobe	19	Signal Ground(nStrobe)
2	Data1	20	Signal Ground(Data1)
3	Data2	21	Signal Ground(Data2)
4	Data3	22	Signal Ground(Data3)
5	Data4	23	Signal Ground(Data4)
6	Data5	24	Signal Ground(Data5)
7	Data6	25	Signal Ground(Data6)
8	Data7	26	Signal Ground(Data7)
9	Data8	27	Signal Ground(Data8)
10	nAck	28	Signal Ground(Paper Empty , Select , nAck)
11	Busy	29	Signal Ground(Busy , nFault)
12	Paper Empty	30	Signal Ground(nAutoFd , nSelect , nInit)
13	Select	31	nInit
14	nAutoFd	32	nFault
15	Not defined	33	Not defined
16	Logic Gnd	34	Not defined
17	Chassis Gnd	35	Not defined
18	Phipheral Logic High	36	nSelect In

MEMO

LPV2-TX1/T1 ユーザーズマニュアル
2007 年 3 月 30 日 第 2 版発行
発行　株式会社バッファロー